

当院で「慢性副鼻腔炎」の手術を受けられた患者さんへ

当院耳鼻咽喉科では、過去に診療を受けられた患者さんの診療記録（カルテ）を用いた臨床研究を行っております。本研究は、患者さんへの新たな検査や処置を伴うものではなく、過去のカルテの情報を集計・解析するものです。このような研究は、国の指針（人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針）に基づき、患者さんから直接同意をいただく代わりに、研究内容を公開し、患者さんがご自身のデータの使用を拒否できる機会を設けること（オプトアウト）が定められています。

本研究に関するお知らせは以下の通りです。ご自身のデータが使用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先までお申し出ください。

- 1. 研究の名称** 鼻副鼻腔炎手術後における薬剤溶出型吸収性副鼻腔用ステントの有効性の検討
- 2. 研究の背景と目的** 慢性副鼻腔炎（蓄膿症）の手術では、手術後の鼻内の粘膜の腫れ（浮腫）や癒着を防ぐことが、病気の再発防止のために非常に重要です。2025 年 10 月から手術後に鼻の中に留置して持続的に炎症を抑えるお薬（ステロイド）を放出する新しい医療機器（ステロイド徐放性インプラント）が使えるようになりました。本研究は、重症の副鼻腔炎の患者さんに対して、このインプラントを用いた治療が、手術後の粘膜の治りをどのくらい良くするのかを調査し、今後のより良い治療法の選択（患者さんごとの個別化医療）に役立てることを目的としています。
- 3. 対象となる患者さん** 2025 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 2 月 28 日の期間に、当院耳鼻咽喉科において、慢性副鼻腔炎に対する内視鏡下鼻副鼻腔手術（ESS3 型または 4 型）を受けられた患者さん
- 4. 利用するカルテ情報** 本研究では、通常診療で得られた以下のカルテ情報を利用させていただきます。
 - ・患者さんの基本情報（年齢、性別など）
 - ・ご病気の状態に関する情報（気管支喘息の有無など）
 - ・血液検査の結果（好酸球数など）
 - ・画像検査（CT）の所見
 - ・手術後（1 ヶ月後、3 ヶ月後）の内視鏡検査の所見※本研究のために、新たな検査や費用をお願いすることは一切ありません。

5. **個人情報の取り扱いについて** 患者さんのデータを使用する際は、お名前、住所、カルテ番号など、個人を直接特定できる情報はすべて削除し、誰のデータかわからないようにする「匿名化」を厳重に行います。また、研究成果は医学会の学会発表や学術雑誌（論文）などで公表される予定ですが、その際にも患者さん個人の情報が公表されることは一切ありません。

6. **ご自身のデータ使用を拒否したい場合** ご自身のデータを本研究に利用されたくない場合は、いつでも利用を拒否することができます。拒否を希望される場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。データの利用を拒否された場合でも、患者さんに不利益が生じること（今後の当院での診療に影響が出ることなど）は一切ありませんのでご安心ください。

7. **お問い合わせ窓口** 本研究に関するご質問や、データの利用停止のご希望がございましたら、以下の担当者までご連絡ください。

【研究機関および問い合わせ先】 九州中央病院 耳鼻咽喉科 研究責任者（担当医）：鈴木 智陽 電話番号：092-541-4936 対応時間：平日 9:00 ～ 17:00